

株式会社レオパレス21  
2024年3月期 第1四半期プレゼンテーション資料



エグゼクティブサマリー	3
第1章 2024年3月期1Q 決算概要	4
第2章 賃貸事業指標・施策	16
第3章 サステナビリティ推進	24
第4章 施工不備 改修進捗状況	28
Appendix	30

\*本説明資料にある内容には、将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績は様々な重要要素により、これら見通しと大きく異なる結果となりえることをご了承ください

## 賃貸

24/3期1Qの**平均入居率は87.03%**と計画通りに推移。  
家賃単価は計画比大幅にプラス。

## PL

**売上高1,063億円、営業利益76億円、純利益66億円。**  
売上高および各段階利益はいずれも計画比プラス。  
1Qの営業利益・純利益としては、**リーマンショック以降で過去最高益。**

## BS

1Q末の**現預金は581億円**（QoQ+45億円）。1QでのQoQプラスはリーマンショック以来初。  
**自己資本比率は18.2%**まで改善。

施工不備  
対応

1Qは**改修戸数2,105戸**と計画通りに進捗し、今後の予測改修戸数は**約26,900戸**（7月末時点）。  
改修スピードの向上に向け、入居中の部屋についても入居者と協議・改修を実施。

自己株式  
取得

**上限100億円、5,000万株**の自己株式取得を公表。  
**2023年7月6日～2024年1月5日**の期間内で取得を実施。

第1章

2024年3月期1Q 決算概要

## 1

## 収益構造と財務基盤の安定化

収益力の強化により自己資本を増強し、  
株主還元の実現に向けて資本の再構成を図る

期中平均入居率  
87.20%

営業利益  
139億円

自己資本比率  
17.7%

期末入居率  
91.40%

当期純利益  
74億円

## 2

## 構造改革とDXの推進

不断の構造改革を継続するとともに、  
デジタル技術の活用により、顧客利便性向上と業務効率化を図る

ノンコア・不採算事業の  
譲渡撤退

人材戦略の推進

スマートロック設置  
の推進

## 3

## 施工不備改修の実施

2024年12月末までの「明らかな不備の解消」を目指して  
施工不備の改修を継続

施工不備対応体制を強化し、  
全社をあげて改修を実行

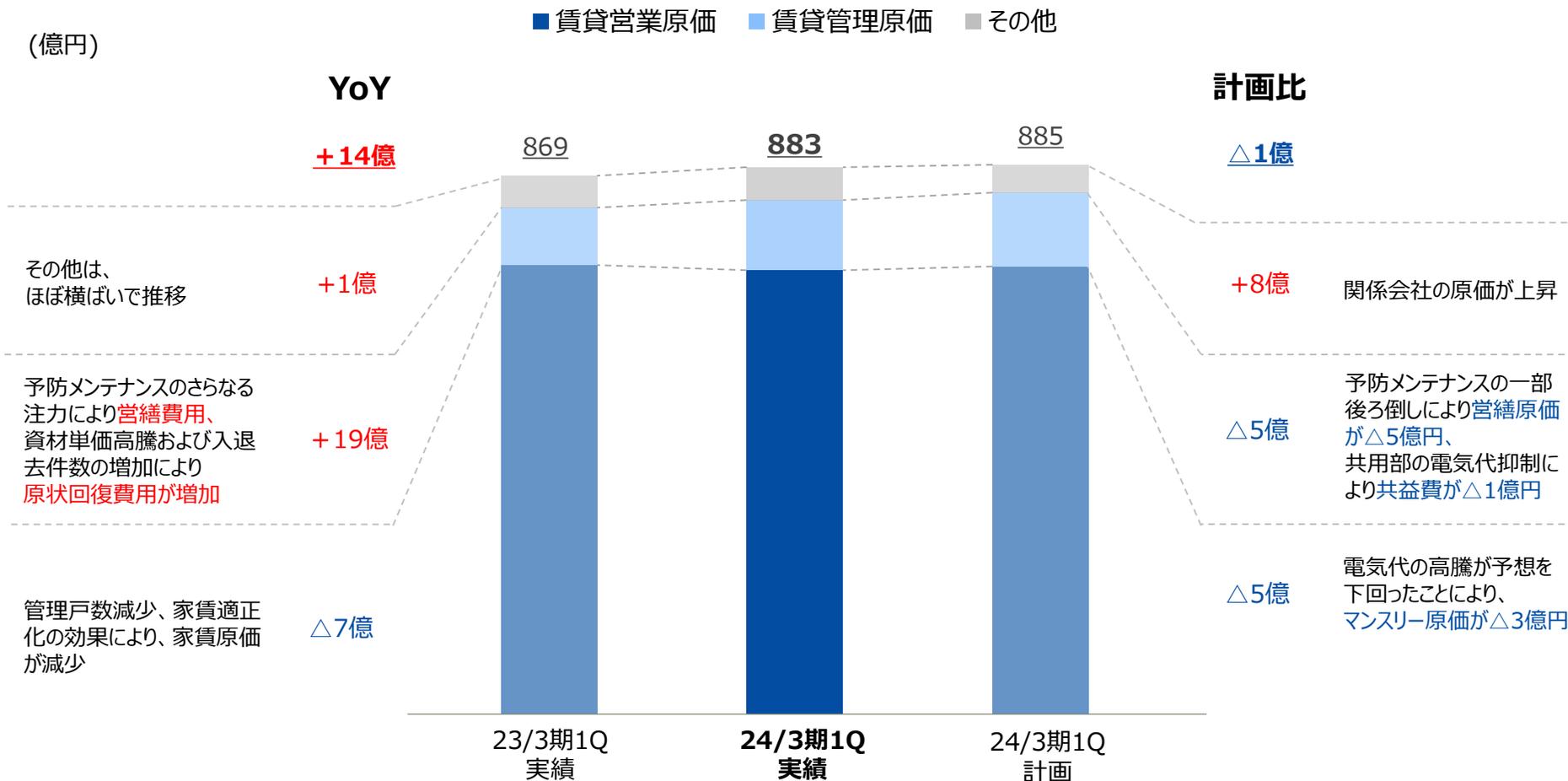
## ガバナンスの強化

売上高および各段階利益はいずれも計画比プラス。

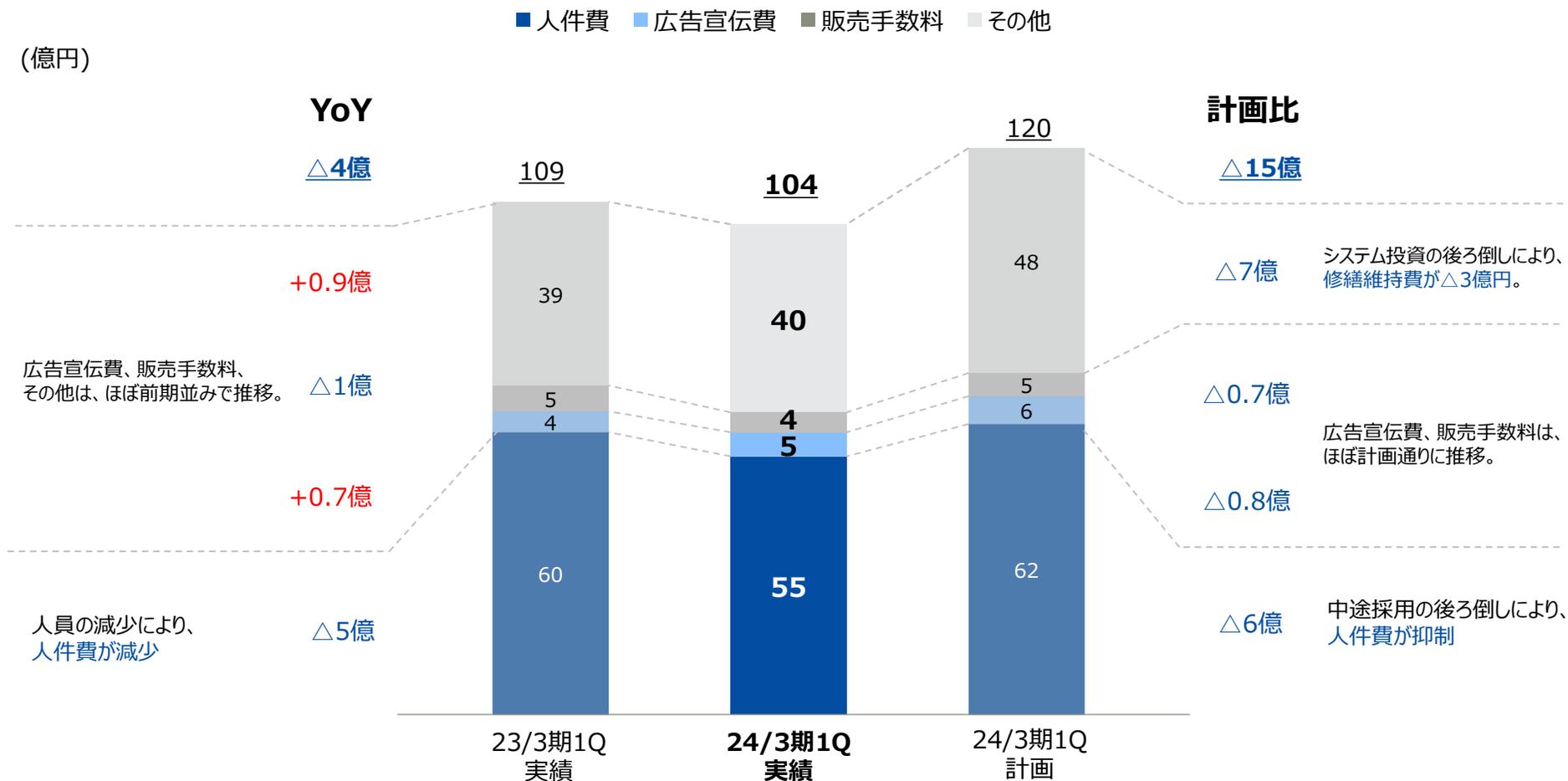
1Qの営業利益・純利益としては、リーマンショック以降で過去最高益。

(百万円)	23/3期1Q 実績	24/3期1Q 計画	24/3期1Q 実績	増減要因		
				前期比	計画比	
売上高	101,406	104,900	<b>106,375</b>	+4,968	+1,475	
売上原価	86,908	88,500	<b>88,308</b>	+1,400	△191	■売上高 入居率は計画通りに推移。 家賃単価の上昇により計画比+14億円。
売上総利益	14,498	16,400	<b>18,066</b>	+3,567	+1,666	
%	14.3%	15.6%	<b>17.0%</b>	+2.7p	+1.4p	■売上原価 資材単価の高騰・入退去件数の増加により 原状回復費用が増加したことに加え、23/3 期から引き続き予防メンテナンスに注力し、 前期比+14億円。
販管費	10,919	12,000	<b>10,444</b>	△475	△1,555	
営業利益	3,579	4,400	<b>7,622</b>	+4,043	+3,222	
%	3.5%	4.2%	<b>7.2%</b>	+3.7p	+3.0p	■販管費 中途採用およびシステム投資の後ろ倒しに より、計画比△15億円。
EBITDA	5,453	6,100	<b>8,959</b>	+3,506	+2,859	
経常利益	2,643	3,200	<b>6,851</b>	+4,208	+3,651	■経常利益 支払利息10億円を計上
純利益	1,630	2,500	<b>6,627</b>	+4,997	+4,127	■純利益 特別利益として、補修工事関連損失引当 金戻入額3.2億円を計上
平均入居率	84.19%	87.03%	<b>87.03%</b>	+2.84p	±0.00p	
EPS	4.96円	7.60円	<b>20.14円</b>	+15.18円	+12.54円	

賃貸管理原価の増加により前期比増加も、概ね計画通りに推移。



中途採用の後ろ倒し、その他各項目の抑制により、販管費は計画比マイナス。



\*その他：租税公課、支払手数料、賃借料、修繕維持費、減価償却費 等

24/3期は、保守的な見通しとして繰延税金資産の積み増しは見込まず。  
営業利益、EBITDAは順調に回復し、25/3期には施工不備問題発覚前の水準に到達。

(百万円)	24/3期 計画	前期比	増減要因	25/3期 計画(参考)	
				前期比	前期比
売上高	<b>419,800</b>	+13,351	入居率の向上により賃貸事業売上が大幅プラス	<b>432,200</b>	+12,400
売上原価	<b>355,400</b>	+2,237	22/3期から取り組んだ家賃適正化が一巡し、家賃原価が減少	<b>353,000</b>	△2,400
売上総利益	<b>64,400</b>	+11,115	水光熱費の高騰によりマンスリー契約原価、 資材単価・労務単価の高騰により原状回復費やメンテナンス 原価が上昇	<b>79,200</b>	+14,800
%	<b>15.3%</b>	+2.2p	空室損失引当金の残高は±0を見込む	<b>18.3%</b>	+3.0p
販管費	<b>50,500</b>	+7,094		<b>55,400</b>	+4,900
営業利益	<b>13,900</b>	+4,021	ベースアップや賞与引当金の計上等、人件費が増加	<b>23,800</b>	+9,900
%	<b>3.3%</b>	+0.9p	システム投資、新卒採用活動の再開等により、 その他販管費が増加	<b>5.5%</b>	+2.2p
EBITDA	<b>20,500</b>	+4,050		<b>30,400</b>	+9,900
経常利益	<b>9,400</b>	+2,874	特別利益・特別損失の計上は見込まず	<b>20,100</b>	+10,700
純利益	<b>7,400</b>	△12,410	繰延税金資産の積み増しは見込まず (23/3期は185億円を計上)	<b>18,100</b>	+10,700
平均入居率	<b>87.20%</b>	+2.54p		<b>89.62%</b>	+2.42p
EPS	<b>22.49円</b>	△37.73円	入居率は堅調な推移	<b>55.01円</b>	+32.52円

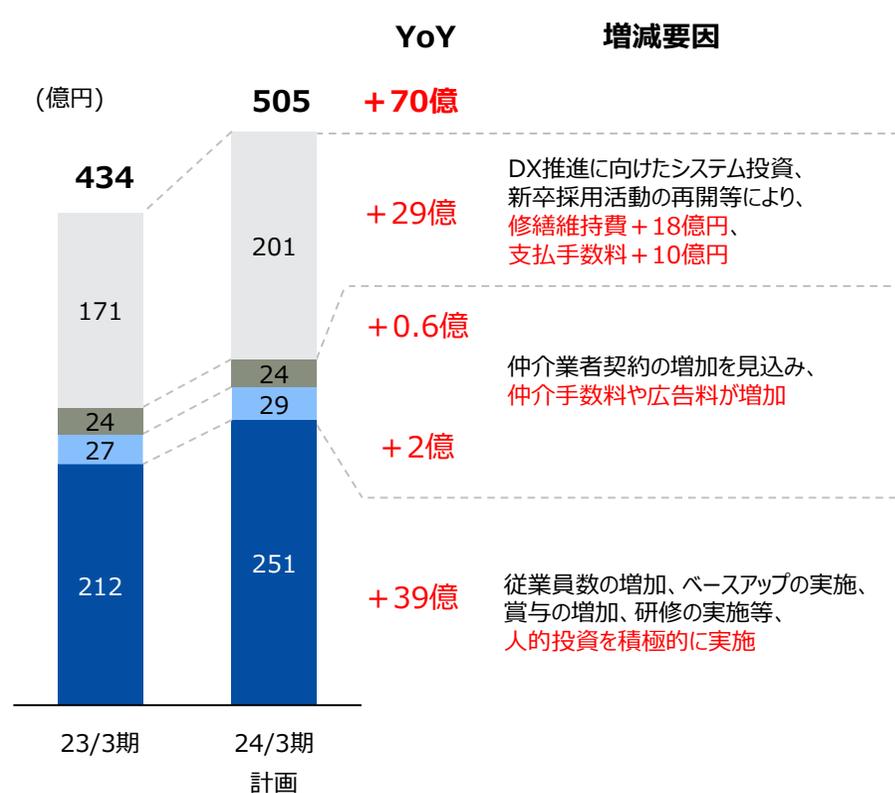
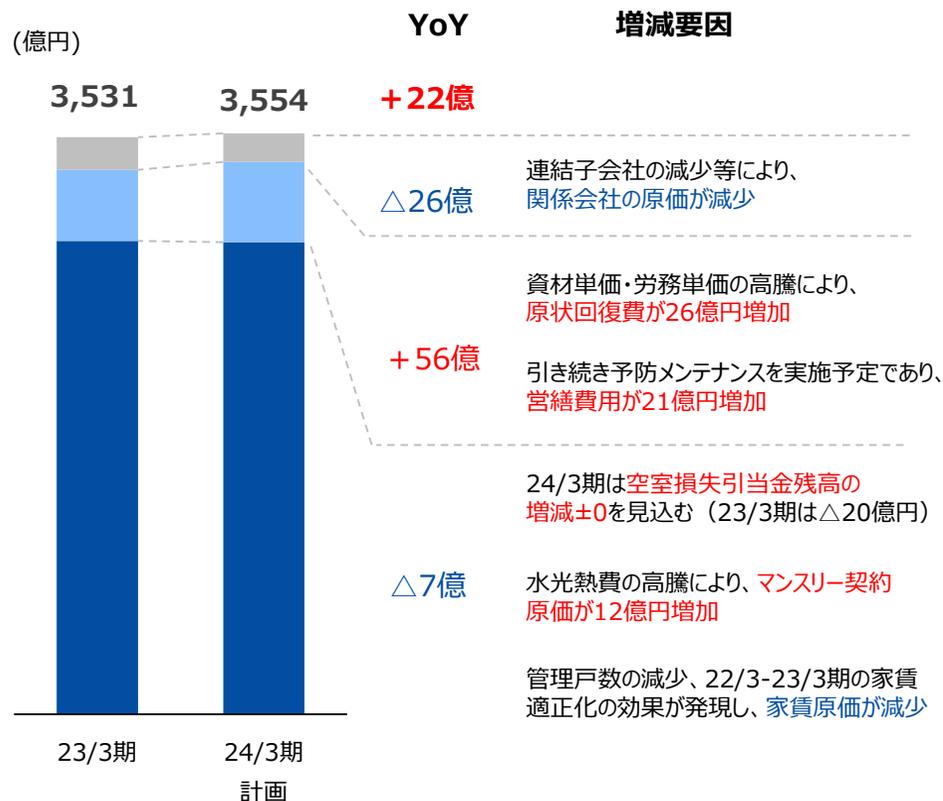
施工不備問題の発覚以降、聖域なきコストカットを継続してきたが、持続的な成長を目指し、23/3期以降は選択と集中によるコストの最適化に注力

## 売上原価

## 販管費

■ 賃貸営業原価 ■ 賃貸管理原価 ■ その他

■ 人件費 ■ 広告宣伝費 ■ 販売手数料 ■ その他



24/3期1Qは、家賃単価の上昇および販管費抑制により、計画を上回る着地。

(百万円)	23/3期				24/3期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q		2Q	3Q	4Q
	実績	実績	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画
売上高	101,406	101,053	101,056	102,931	104,900	<b>106,375</b>	104,200	104,400	106,300
売上原価	86,908	87,597	87,315	91,341	88,500	<b>88,308</b>	88,300	88,600	90,000
売上総利益	14,498	13,456	13,740	11,590	16,400	<b>18,066</b>	15,900	15,800	16,300
販管費	10,919	10,073	9,934	12,479	12,000	<b>10,444</b>	12,300	12,400	13,800
営業利益	3,579	3,383	3,806	△889	4,400	<b>7,622</b>	3,600	3,400	2,500
経常利益	2,643	2,790	3,014	△1,921	3,200	<b>6,851</b>	2,500	2,300	1,400
純利益	1,630	2,061	1,857	14,261	2,500	<b>6,627</b>	2,000	1,900	1,000

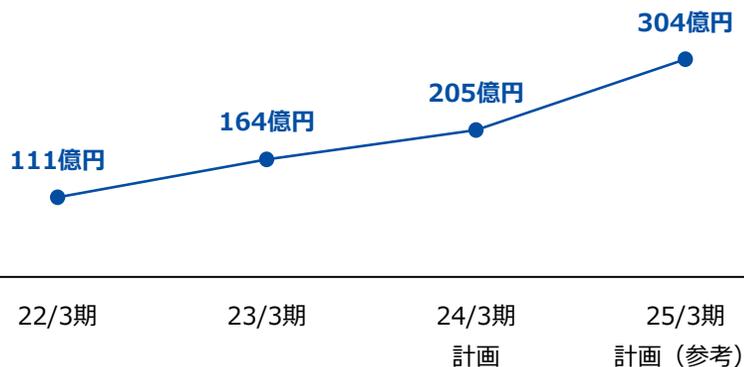
(百万円)	23/3期末	24/3期 1Q末	QoQ
現金及び預金	53,560	<b>58,158</b>	+4,597
売掛金	8,121	<b>7,536</b>	△ 585
資産合計	166,548	<b>169,053</b>	+2,505
有利子負債*	31,849	<b>32,023</b>	+173
補修工事関連損失引当金	17,583	<b>16,517</b>	△ 1,065
空室損失引当金	3,590	<b>3,590</b>	± 0
負債合計	133,625	<b>130,122</b>	△ 3,503
資本金	100	<b>100</b>	± 0
資本剰余金	136,240	<b>29,391</b>	△ 106,848
利益剰余金	△ 116,006	<b>△ 2,530</b>	+113,475
株主資本	20,128	<b>26,756</b>	+6,627
その他の包括利益累計額	3,986	<b>3,999</b>	+12
自己資本	24,115	<b>30,755</b>	+6,640
(自己資本比率)	14.5%	<b>18.2%</b>	+3.7p
新株予約権	284	<b>284</b>	△ 0
非支配株主持分	8,522	<b>7,891</b>	△ 631
純資産合計	32,922	<b>38,931</b>	+6,008
負債純資産合計	166,548	<b>169,053</b>	+2,505

増減要因
<p>■現金及び預金 入居率および家賃単価の上昇、コスト抑制の継続により、QoQ+45億円</p>
<p>■補修工事関連損失引当金（流動65億円、固定100億円） 改修の進捗、補修工事関連損失引当金戻入額3.2億円の計上により、QoQ△10億円</p>
<p>■空室損失引当金（流動0億円、固定35億円） QoQ±0円 施工不備問題発覚以前の入居率トレンドへ回帰したことから、今後大きな増減は見込まず</p>
<p>■資本剰余金 2023年6月29日に資本の再構成を実施 1,068億円を「利益剰余金」へ振り替え</p>
<p>■自己資本 1Q純利益66億円を計上</p>
<p>■非支配株主持分 レオパレスパワーの自己株式取得と配当実施等により、QoQ△6.3億円</p>

\*有利子負債=借入金+リース債務

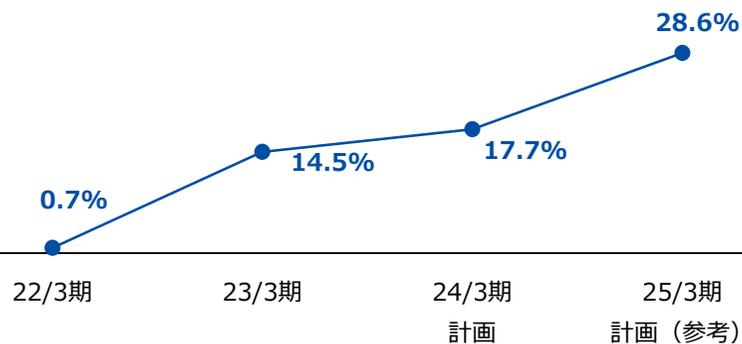
賃貸事業および財務基盤の強化により、各主要指標は25/3期には高水準に到達。

EBITDA



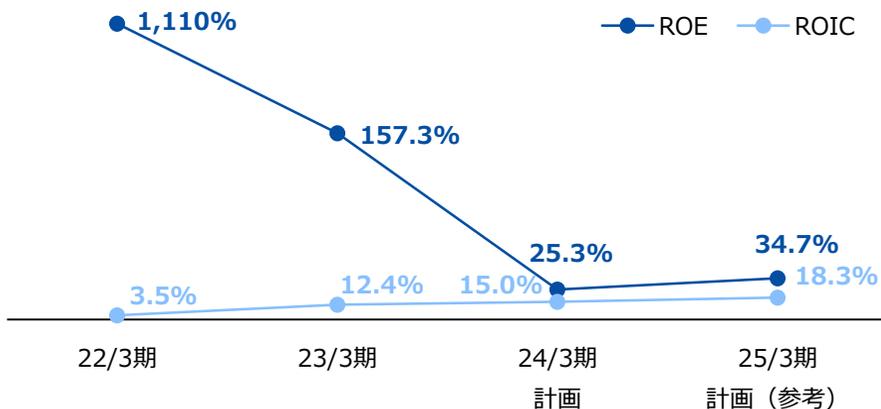
\*EBITDA：営業利益+減価償却費

自己資本比率



\*自己資本比率 = 自己資本 ÷ 総資本 (負債 + 純資産) × 100

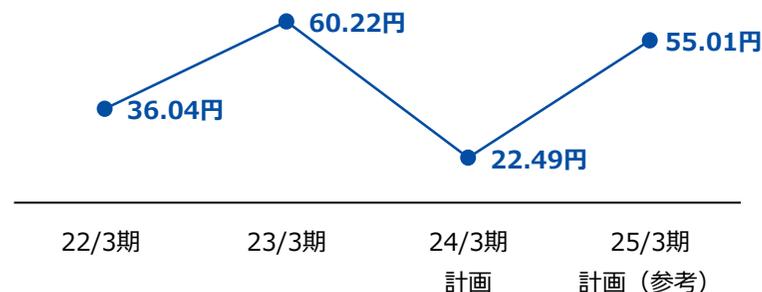
自己資本利益率 (ROE) ・投下資本利益率 (ROIC)



\*ROE = 当期純利益 ÷ 自己資本

\*ROIC = NOPAT (税引き後営業利益) ÷ 投下資本 (有利子負債 + 株主資本)

一株当たり当期純利益 (EPS)



\*EPS = 当期純利益 ÷ 発行済株式総数

資本の再構成により、配当原資となる利益剰余金の欠損を解消。

### ▼株主資本（単体）

（億円）	振り替え前	→	振り替え後
資本金	1		1
資本剰余金	1,312		243
資本準備金	512	100億	100
その他資本剰余金	799	412億	1,212
			143億
利益剰余金	△1,068	△1,068	0
			1,068億

- 1 「資本準備金」から412億円を「その他資本剰余金」へ振り替え
- 2 「その他資本剰余金」から1,068億円を「利益剰余金」へ振り替え
- 3 「利益剰余金」が**0円**になり、欠損が解消

今後の柔軟かつ機動的な資本政策  
や早期に復配できる体制を確保

\*2023年6月29日開催の第50期定時株主総会において可決

\*効力発生日：2023年6月29日

財務健全性および株価水準を考慮し、2023年7月5日に自己株式の取得を発表。  
上限は5,000万株、100億円。

	取得の株数	取得価額の総額	取得の期間
取得の状況 (7月31日 現在)	803万株	24億円	23/7/6~23/7/31
取得に係る決議内容	5,000万株(上限)	100億円(上限)	23/7/6~24/1/5

■保有自己株式数

2023年3月31日時点： 335,211株

2023年7月31日時点： 7,150,961株

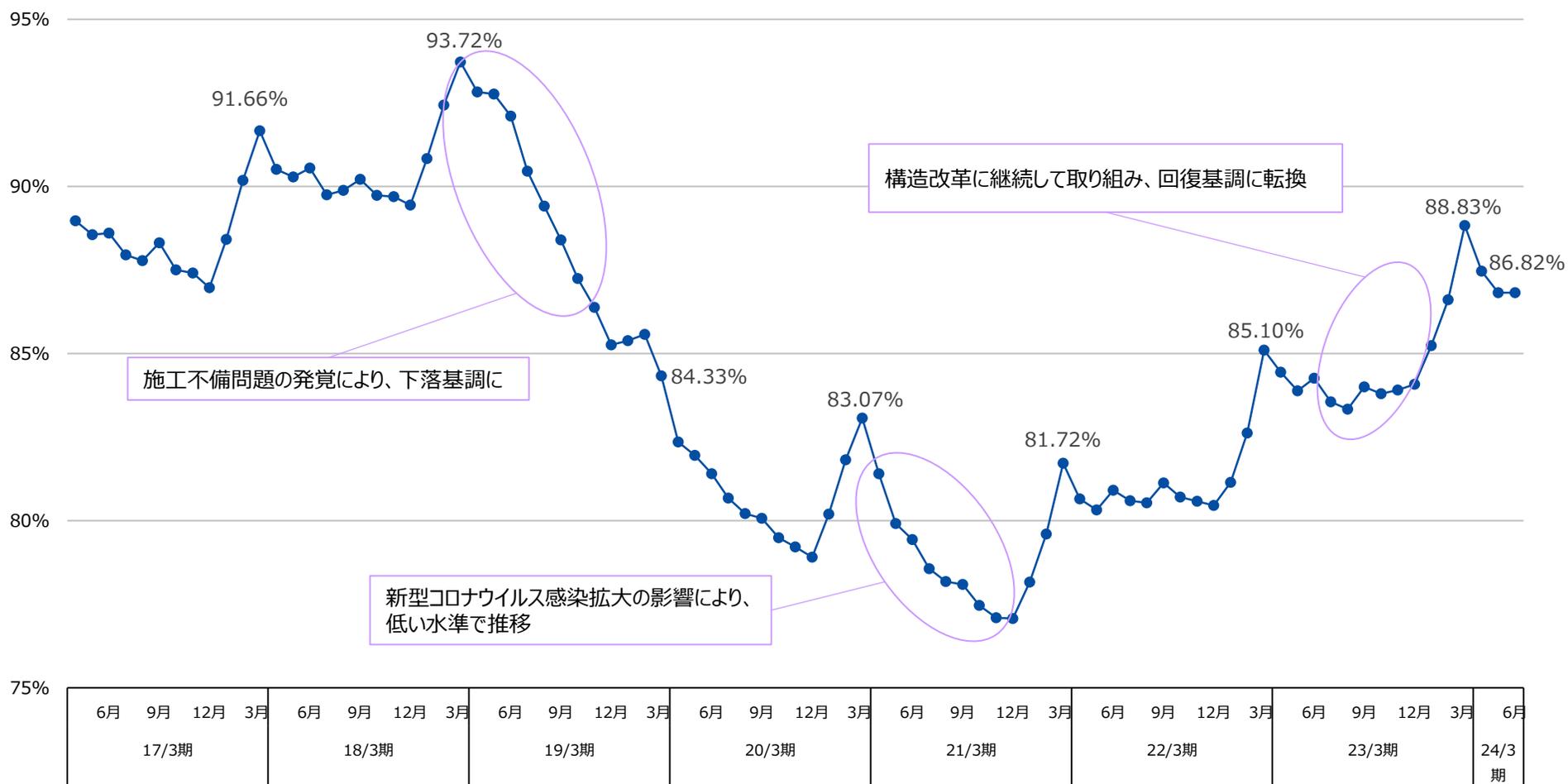
\*2023年7月5日付「[自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ](#)」

\*2023年8月4日付「[自己株式の取得状況に関するお知らせ](#)」

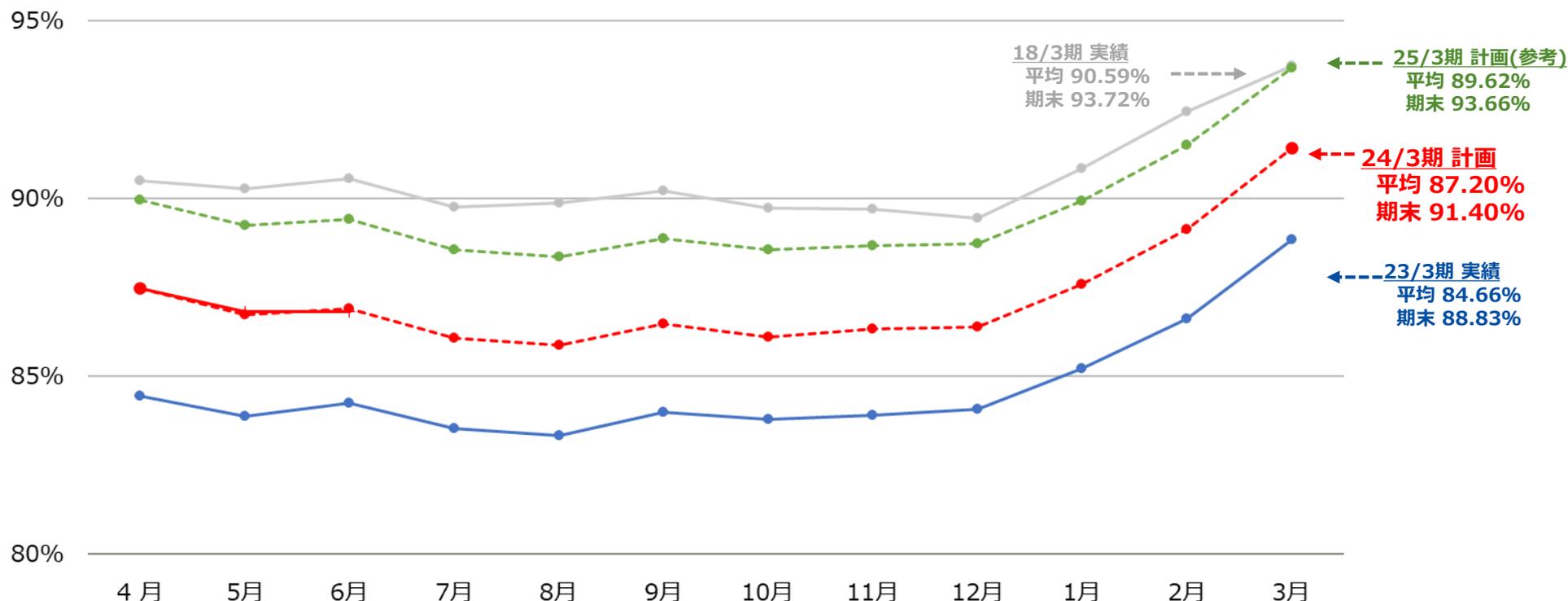
## 第2章 貸貸事業指標・施策

---

リーマンショック以降18/3期まで上昇を続けてきたが、施工不備問題の発覚・コロナ影響により19/3期から右肩下がり推移。21/3期12月で底を打ち、回復基調に転換。23/3期以降は、施工不備問題発覚前のトレンドで推移。



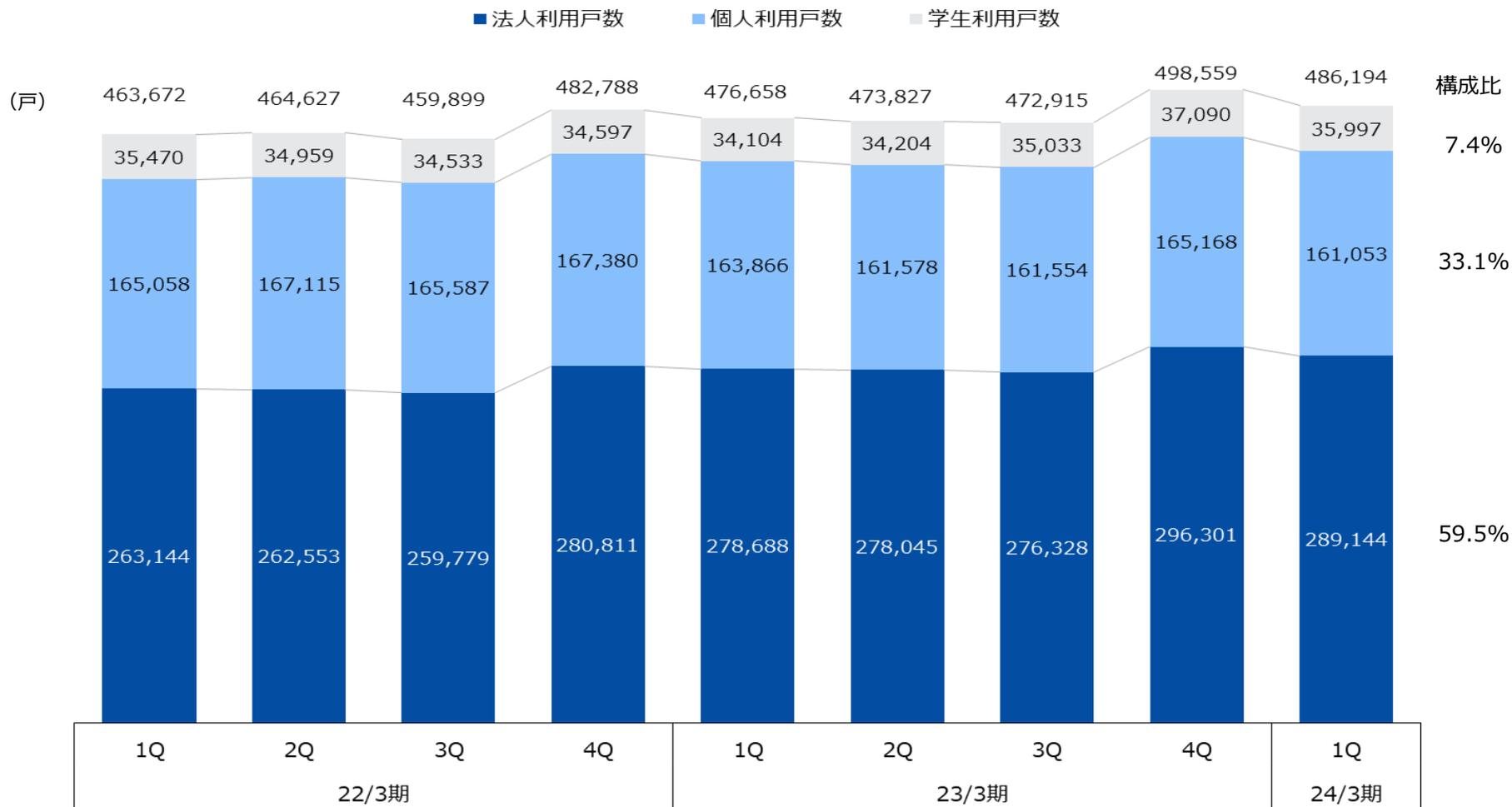
24/3期1Q末入居率は86.82%(YoY + 2.56p)、平均入居率は87.03%(YoY + 2.84p)と計画通りに推移。  
25/3期末には、施工不備問発覚直前である18/3期水準への回帰を目指す。



	18/3期		23/3期		24/3期計画		25/3期計画(参考)	
	期中平均	期末	計画比	YoY	期中平均	期末	期中平均	期末
期中平均	90.59%	84.66%	△0.39p	+3.44p	87.20%	87.20%	89.62%	89.62%
期末	93.72%	88.83%	+0.39p	+3.73p	91.40%	91.40%	93.66%	93.66%

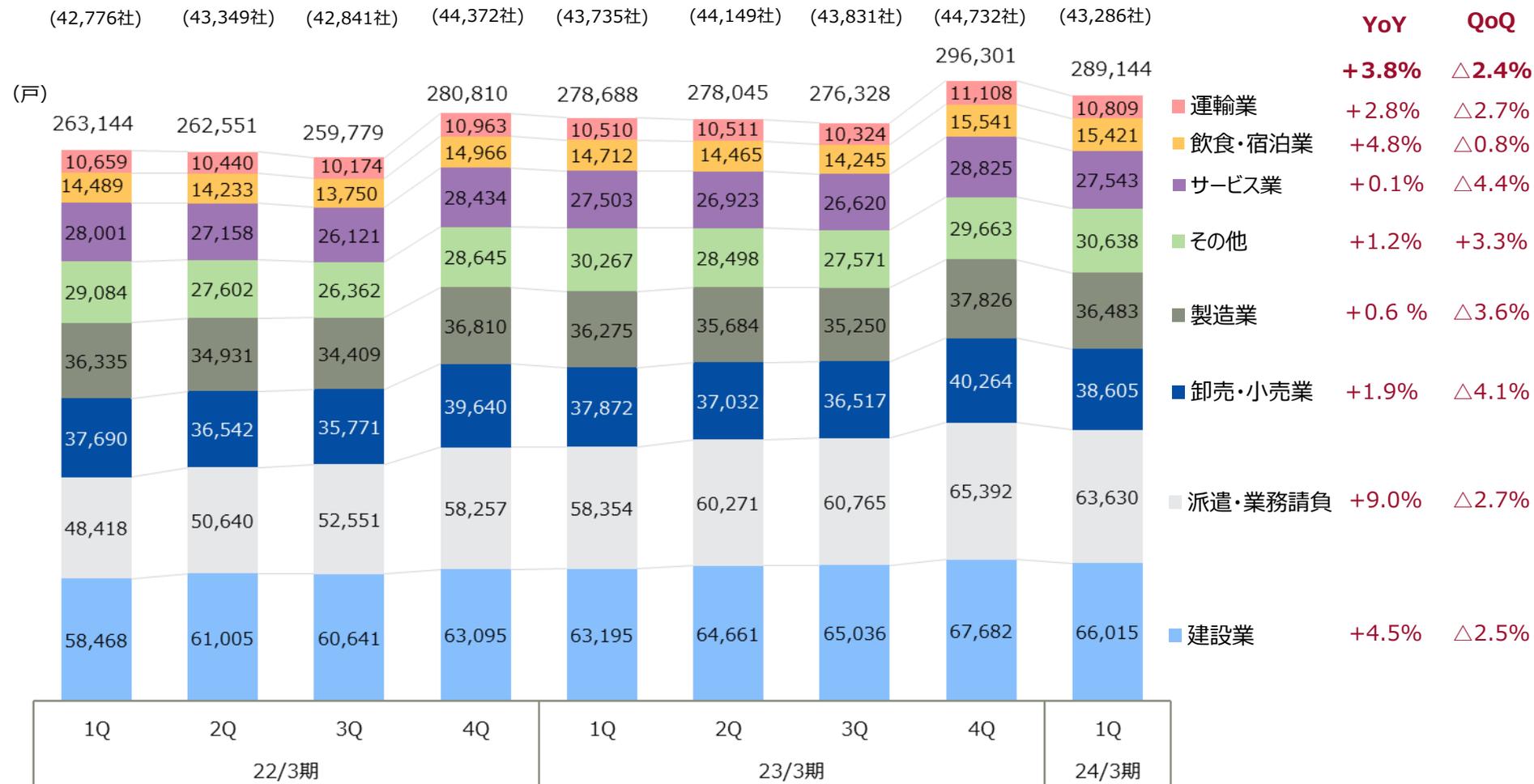
\*月次データ：<https://www.leopalace21.co.jp/ir/finance/monthly/index.html>

24/3期1Q時点の法人利用戸数はYoY + 1万456戸の28万9,144戸。  
法人利用の構成比は、リーマンショック以降最大の59.5%。



全国上場企業の約80%が当社を利用。

派遣・業務請負、建設業は引き続き堅調に推移。コロナ影響の緩和により、飲食・宿泊業が改善基調に。

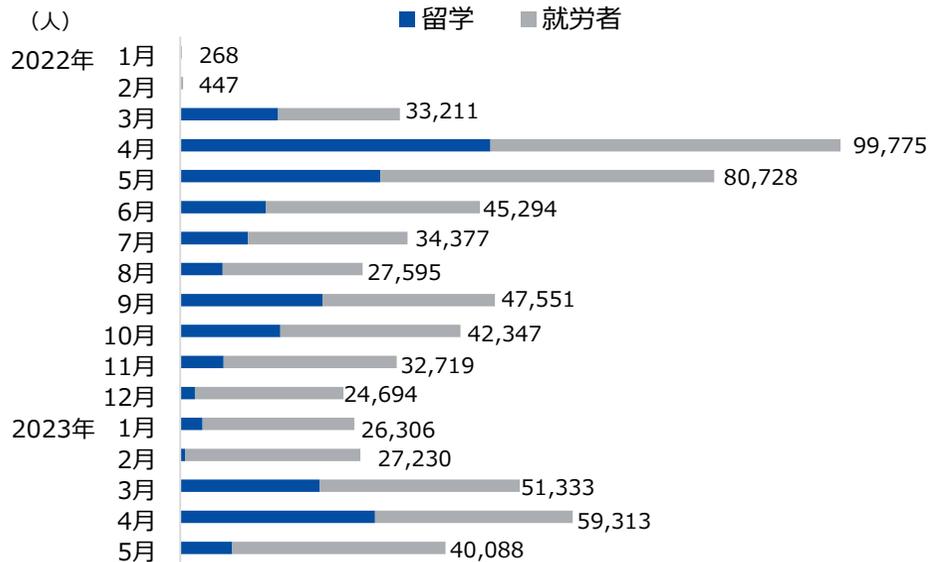


個人契約の約2.2万戸に法人契約の約2万戸を加えると外国籍入居者全体は約4.2万戸であり、利用戸数全体の8.7%相当（YoY：+1.2p、QoQ：△0.1p）。

### 外国籍契約件数（個人契約）

▶ 24/3期 1Q実績：2,133件  
（計画比△564件、YoY△629件）

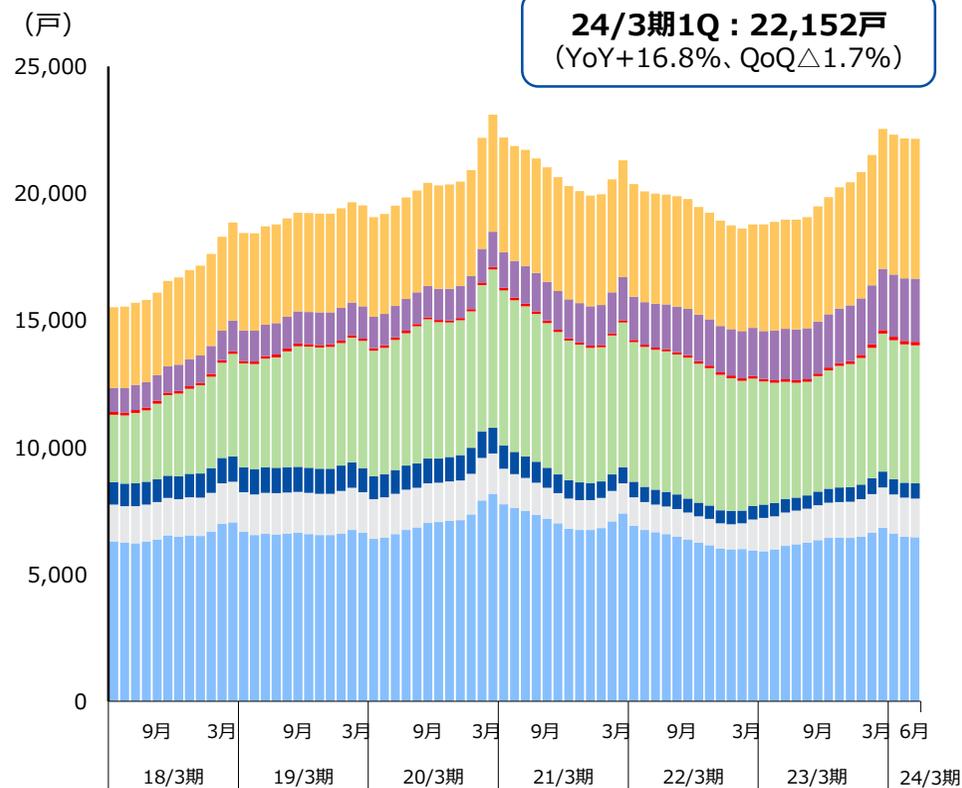
### ▼外国人新規入国者数の推移\*



\*出入国在留管理庁「国籍・地域別 新規入国外国人の在留資格」より

### 外国籍利用戸数（個人契約）の推移

■ 中国 ■ 韓国 ■ 台湾 ■ ベトナム ■ タイ ■ その他東南アジア ■ その他



北海道・富山県はインフラ工事の入居需要増加により、YoY・QoQともに大幅プラス。  
一方で、三重県は建設プロジェクトの終了に伴う入居需要減少により、YoY・QoQともにマイナス。

(千戸、%)	24/3期 1Q			
	管理戸数 (千戸)	入居率	YoY	QoQ
北海道	13	91%	+10p	+8p
青森県	4	83%	△3p	±0p
岩手県	3	94%	+2p	+1p
宮城県	10	87%	+4p	△2p
秋田県	2	92%	△4P	±0p
山形県	4	90%	+4P	+1p
福島県	10	83%	+2p	△3p
茨城県	15	86%	+4p	△4p
栃木県	11	83%	±0p	△4p
群馬県	12	83%	+6p	△2p
埼玉県	45	89%	+4p	△2p
千葉県	33	84%	+5p	△3p
東京都	43	91%	+6p	△2p
神奈川県	40	89%	+1p	△4p
新潟県	9	85%	+6p	△1p
富山県	5	89%	+10p	+4p

(千戸、%)	24/3期 1Q			
	管理戸数 (千戸)	入居率	YoY	QoQ
石川県	5	82%	+4p	+1p
福井県	4	85%	△7p	△2p
山梨県	4	87%	△2p	△4p
長野県	11	92%	+5p	△2p
岐阜県	7	84%	△1p	△3p
静岡県	24	81%	+4p	△1p
愛知県	41	88%	+1p	△2p
三重県	11	73%	△9p	△4p
滋賀県	8	94%	±0p	△2p
京都府	9	89%	+2p	△3p
大阪府	31	85%	+3p	△3p
兵庫県	22	87%	+3p	△2p
奈良県	3	90%	+5p	△1p
和歌山県	3	78%	+3p	△4p
鳥取県	2	83%	△2p	△4p
島根県	2	94%	△2p	+1p

(千戸、%)	24/3期 1Q			
	管理戸数 (千戸)	入居率	YoY	QoQ
岡山県	12	83%	+1p	△1p
広島県	13	89%	+1p	△3p
山口県	7	88%	±0p	△2p
徳島県	2	79%	△5p	±0p
香川県	5	80%	△1p	△2p
愛媛県	4	82%	△6p	△1p
高知県	2	82%	+1p	△5p
福岡県	20	88%	+2p	△1p
佐賀県	3	88%	△3p	△3p
長崎県	2	94%	+2p	△1p
熊本県	7	93%	+2p	△2p
大分県	4	81%	△3p	△3p
宮崎県	2	85%	+1p	△3p
鹿児島県	3	89%	+4p	△3p
沖縄県	5	97%	+4p	±0p
合計	560	87%	+3p	△2p

前期の入居率向上施策をブラッシュアップし、24/3期の入居率計画達成を目指す。

## シェアアップによる部屋利用残の増加（法人）

### 「社宅戦略のブレイク」の地位確立

- ◆ **トップ営業の実行**  
経営陣によるトップ営業を推進し、顧客の課題解決を図る。
- ◆ **営業体制の強化**  
首都圏を中心に営業本部を増設。8本部から11本部への体制変更により、行動量の増加を図る。
- ◆ **個社別戦略**  
顧客の特性・ニーズに合った戦略を策定・推進することで部屋利用の促進を目指す。

#### 【広域法人部】

特定6業種(派遣/建設/運輸/飲食/流通/介護)との関係強化

#### 【エリア法人部】

各エリアにおける、地場企業との関係構築

### 外国籍人材の利用増加

外国人材支援企業との関係強化により、販路拡大を図る。

※ 外国籍“法人”名義契約件数 (24/3期 計画) : 約10,000件

## 仲介業者・DX推進（個人）

### 国内仲介業者との連携・協業

- ◆ 大手仲介業者およびフォートレス傘下の**ビレッジハウスと連携・協業**し、仲介業者への営業活動を強化。
- ◆ **24/3期 1Q実績**
  - ・仲介業者契約件数 : 3,374件 (YoY△29.2%)
  - ・仲介業者契約比率 : 38.9% (YoY△4.6p)

### 留学生の利用増加

今後新規入国の増加が予想される「**留学生**」をメインターゲットに、6拠点のIFCによる対応に加え、仲介業者や留学センターとの関係を強化。

※ 外国籍“個人”名義契約件数 (24/3期 計画) : 約12,000件

## 第3章 ▶ サステナビリティ推進

---



# 想いをつなげるDXで新しい価値を創造する

## スマートロック

- ◆ 業界最大水準である**13万戸**を突破
- ◆ 鍵の引き渡しが必要なくなり、来店の手間や関係書類の発行が削減



## チャットボット

- ◆ 2023年8月より、入居中のお問い合わせ、全カテゴリがAI対応可能へ
- ◆ チャットボットによる問い合わせ対応件数：**120,732件**（3-7月）



導入による効果  
 応答率：**約20%改善**

## 法人契約 電子化による業務削減

- ◆ DX化により、お部屋探しから契約/更新/解約にかかる労務を軽減・効率化
- ◆ 社宅関連業務の**約40%**を圧縮

お部屋探し

**EcoSystem**

社宅の部屋探しをAIがサポート

契約/更新

**Leo-sign**

物件契約の手続きが最短1日で完了

請求処理/解約手続き

**法人WEBシステム**

請求～解約など各種情報を一元管理

人材育成を経営課題の一つとして位置付け、人材ビジョンと6つのテーマを策定。



**リーダー育成とサクセッション**

《教育研修の従業員参加総時間》

23/3期	24/3期 目標
4,096時間	9,000時間

**多彩な人材の戦略的獲得**

採用	23/3期	24/3期 目標
新卒採用	-	50名
キャリア採用	54名	146名

\*シルバー事業の介護施設（あずみ苑）採用を除く

**従業員エンゲージメント向上**

《社員エンゲージメント指標》

23/3期	24/3期 目標
8.6%	9.0%

《離職率》

23/3期	目標値
11.1%	5～10%の範囲内

**コンプライアンスと倫理観の醸成**

《コンプライアンス強化》

	23/3期	24/3期 目標
Eラーニング実施回数	10回	9回
ホットラインの認知度	92.1%	定量的な目標値は設定せず

**ウェルビーイング経営の推進**

《定期健診後の精密検査受診率》

23/3期	26/3期 目標
集計中	80.0%

《喫煙率》

23/3期	25/3期 目標
31.9%	25.0%

**多様性の推進 (D&I)**

《女性管理職比率》

	23/3期	26/3期 目標
女性管理職数	35名	50名
女性管理職比率	5.5%	7.8%

《男性社員による育児休暇等、育児目的休暇の取得率》

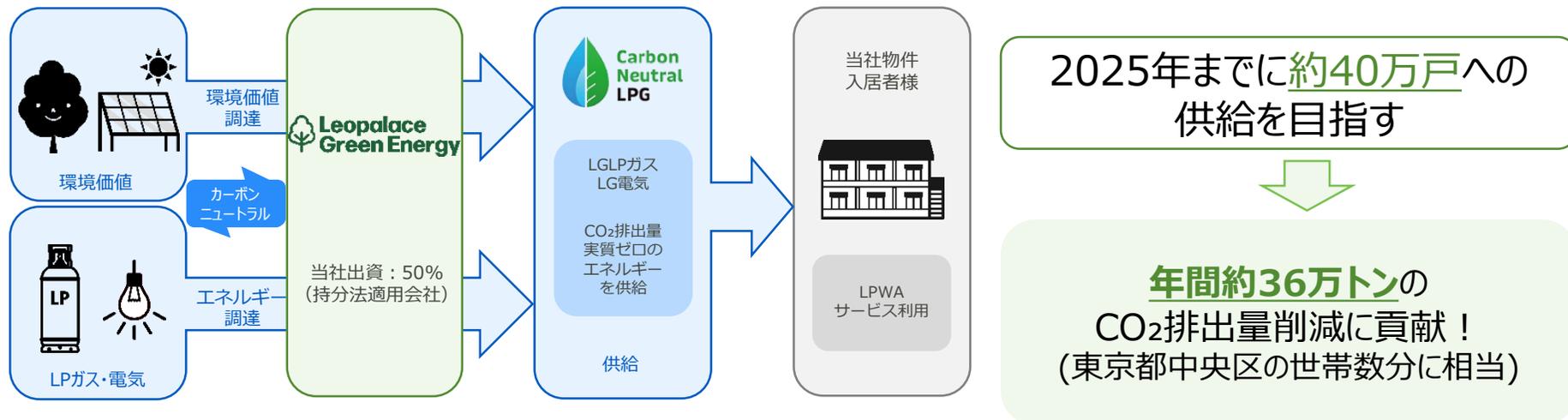
	23/3期	24/3期 目標
男性育児休業取得者数	20名	-
取得比率	35.7%	30～40%の範囲内

《男女間賃金格差》

	23/3期	24/3期 目標
正規従業員	69.1%	70.6%
非正規従業員	63.6%	63.5%
全体	55.4%	55.5%

政府による「2050年カーボンニュートラル宣言」に呼応して、管理する賃貸住宅に対し、CO<sub>2</sub>排出量実質ゼロの「レオパレスグリーンLPガス」と「LPWAサービス」の提供を2023年より順次開始。

### レオパレスグリーンエネルギープロジェクト



#### レオパレスグリーンLPガス

##### CO<sub>2</sub>排出量実質ゼロのLPガス

全てのバリューチェーンにおいて発生する温室効果ガスを、環境保全プロジェクトから得られたカーボンクレジットで相殺し、**CO<sub>2</sub>排出量を実質ゼロ**に。

#### LPWAサービス\*1

##### ガス栓開閉の遠隔操作やガス漏れを自動検知

開栓のWEB受付、WEB請求、24時間のガス利用監視など、**利便性と安全性の向上**に向けて、**公平性・透明性の高いLGLPガス料金体系**を目指す。

#### レオパレスグリーン電気\*2

##### 発電時のCO<sub>2</sub>排出量が実質ゼロ

非化石証書(発電時に二酸化炭素を排出しないという価値を証書化したもの)をセットにすることで、**CO<sub>2</sub>排出量を実質ゼロ**に。

\*1 LPWA : Low Power Wide Area

\*2 「レオパレスグリーン電気」は準備が整い次第供給予定

## 第4章 施工不備 改修進捗状況

---

**今後予測される改修戸数：約26,900戸**

「要改修等」のうち、すでに調査により明らかな不備が判明した住戸**18,023戸**と、未調査住戸でこれまでの調査結果を踏まえ不備が予測される住戸**約8,910戸**を合わせた、**約26,900戸**の改修を見込む

(2023年7月末現在)

シリーズ	全棟数	明らかな不備棟数	明らかな不備棟総戸数	要改修等		予測改修戸数
				要改修等	改修完了	
ネイル・6シリーズ	15,283	7,708	121,066	80,214	49,568	16,300
その他シリーズ	23,802	4,542	70,793	42,479	10,534	10,600
合計	39,085	12,250	191,859	122,693	60,102	26,900

引き続き財務基盤の立て直しを図りつつ、着実に施工不備の改修を実施。

**2024年末までに明らかな不備の解消を目指す。**

\*改修進捗状況：<https://www.leopalace21.co.jp/info/pdf/2023/progress.pdf>



Appendix

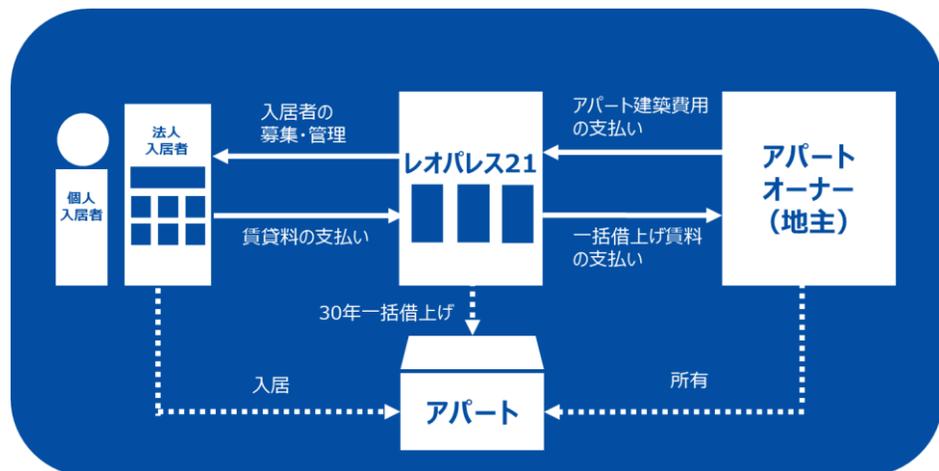
---

## 会社データ (2023年6月末現在)

設立	1973年8月17日		
資本金	1億円		
代表者	代表取締役社長 宮尾 文也		
従業員数	連結	3,965名	単体 2,778名
発行可能株式総数	750,000,000株		
発行済株式総数	329,389,515株 (他、潜在株式数159,748,700株)		
株主数	47,232名 (2023年3月末)		

## ビジネスモデル

全国で約56万戸の家具・家電付きワンルームを提供  
全国上場企業の約80%が当社を利用



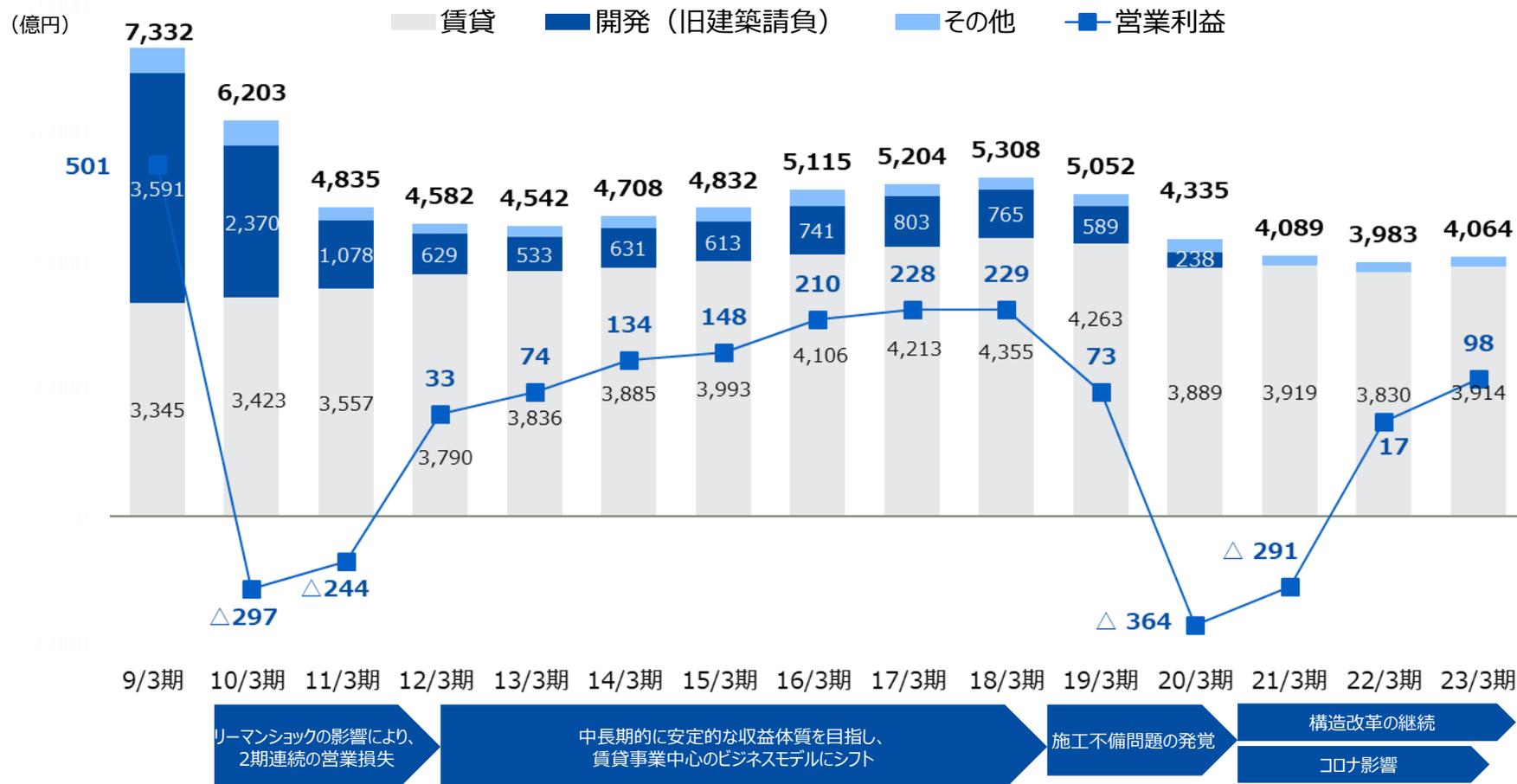
## グループ会社 (2023年6月末現在)

賃貸事業	<b>レオパレス・リーシング</b> 社宅代行	<b>プラザ賃貸管理保証</b> 家賃保証	<b>あすか少額短期保険</b> 入居者家財保険
	<b>レオパレス・パワー</b> 発電事業	<b>レオパレス21ビジネスコンサルティング</b> (上海) 有限公司 入居者斡旋	<b>レオパレスグリーンエネルギー</b> 環境
事業国際	<b>Leopalace21 Singapore Pte. Ltd.</b> 投資事業統括		
事業シルバー	<b>アズ・ライフケア</b> シルバー事業		
事業その他	<b>Leopalace Guam Co.</b> リゾート事業	<b>レオパレス・スマイル</b> 特例子会社	

\* 国際事業の会計セグメントは「賃貸事業」

リーマンショック以降は賃貸事業中心のビジネスモデルにシフト。

19/3期に施工不備問題発覚、21/3期からはコロナ影響を受けるも、構造改革の継続により、22/3期から2期連続で営業黒字。

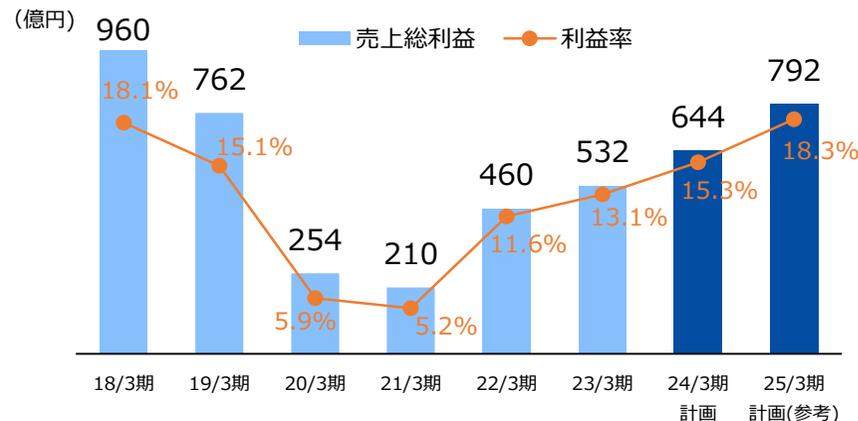


収益構造の改善により、営業利益は20/3期以降右肩上がりで推移。  
 不断の構造改革に取り組むことで、25/3期には18/3期を超える利益率まで上昇。

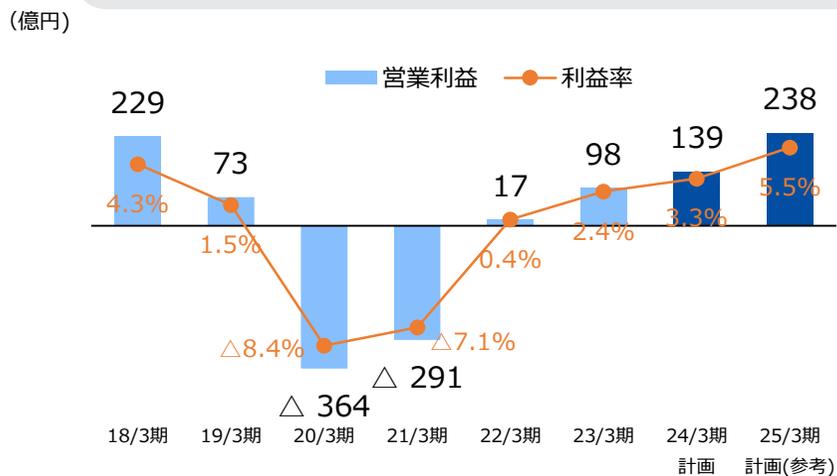
### 売上高



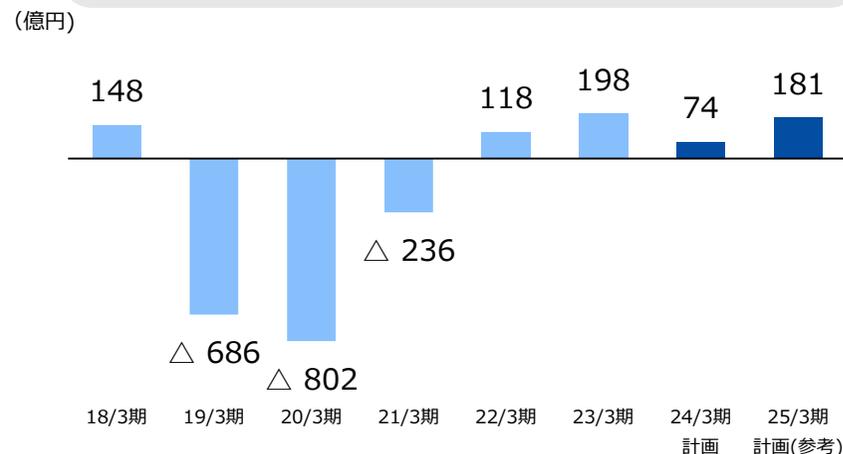
### 売上総利益



### 営業利益

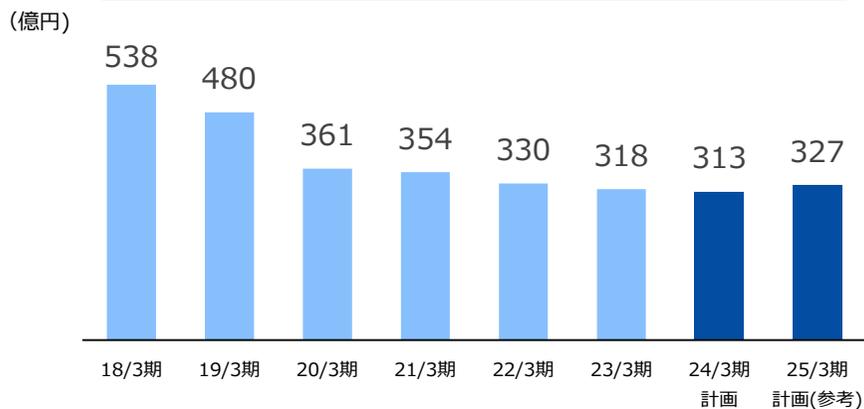


### 純利益

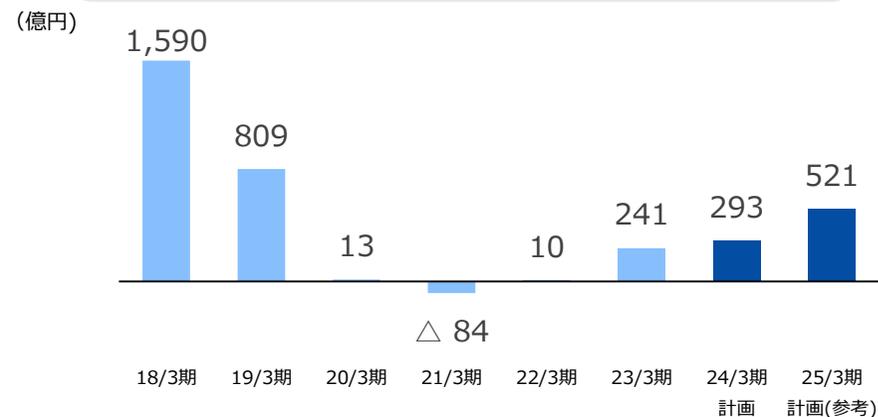


収益力向上により自己資本の強化を行い、復配の実施に向けて進捗を図る。

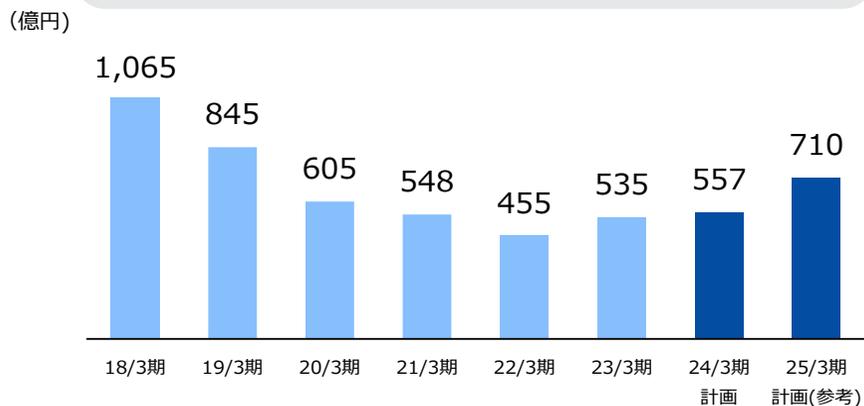
有利子負債\*



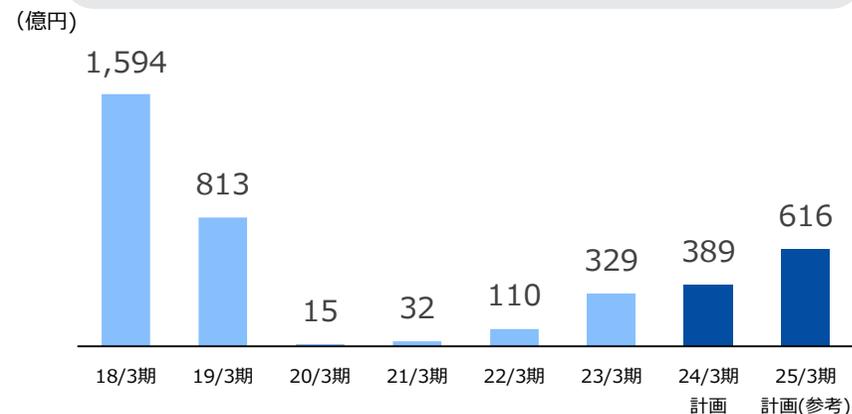
自己資本



現金及び預金



純資産



\*有利子負債=借入金+リース債務+社債

\*借入金の期限前弁済やリファイナンス、新株予約権の転換は織り込まず

■ 投資家情報・サステナビリティに関するお問い合わせはこちら

株式会社レオパレス21 経営企画部 広報IR課

TEL : 050-2016-2907

E-mail : [ir@leopalace21.com](mailto:ir@leopalace21.com)



\*受付時間 : 9:00-18:00 (土日祝日および当社休業日を除く)

© Leopalace21 Corporation. ALL RIGHTS Reserved.

